

プレスリリース

2019年10月10日
国境なき医師団 (MSF)

シリア北東部で軍事作戦 MSF、医療活動開始に備え待機

シリア北東部でトルコ政府軍が軍事作戦を開始したことを受け、国境なき医師団 (MSF) は医療援助活動開始に備え待機している。北部タル・アブヤドにいるチームは、戦闘関連の患者増加に対する準備を進めている。一方、アイン・アル・アラブ (コバニ)、アイン・イッサ、アル・マリケヤ (デレク)、ラッカ、タル・タミールにいるチームは必要に応じて援助を開始する用意を整えている。

MSF はシリア・トルコ国境沿いの各地で、戦闘から避難した人を目撃しており、軍事介入でシリア人の安全が脅かされる事態を強く懸念している。

MSF はトルコ政府に対し、自制と国際人道法の保護規定 (※) を遵守するよう訴えている。

※ 国際人道法では、民間人、病院、救急車、医療従事者ならびに人道援助従事者を保護するよう、紛争当事者に義務づけている。


以上



本件に関するお問い合わせ先：

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本 広報担当：館 俊平

TEL : 03-5286-6141 FAX : 03-5286-6124 E-mail: press@tokyo.msf.org

 メディア向けツイッターアカウント：@MSFJ_Press